allcinema

私を抱いてそしてキスして（1992）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 108分
初公開日 1992/11/14

【解説】
家田荘子のノンフィクション『私を抱いてそしてキスして―エイズ患者と過した一年の壮絶記録』の映画化。田部俊行と麻生かさねと高橋洋が共同で脚色し、「おろしや国酔夢譚」の佐藤純彌がメガホンをとった。南野陽子がHIVに感染したヒロインを演じ、日本映画として初めて厚生省の推薦を受けた。
旅行代理店に勤務する会田圭子は、前の恋人から血液検査で陽性だったという電話を受ける。検査に行った圭子は、すでに自分もエイズに感染していることを知りショックを受けるが、そんなときに出会った高野晶と、自分がエイズであることを告げられないまま肉体関係を結んでしまう。恋人が感染者であることを知った晶は彼女のもとを去り、残された圭子は自分が妊娠していることに気づく…。

【クレジット】

監督	佐藤純弥
企画	黒澤満
	坂上順
プロデューサー	小島吉弘
原作	家田荘子
脚本	田部俊行
	麻生かさね
	高橋洋
撮影	池田健策
美術	小澤秀高
編集	西東清明
音楽	渡辺俊幸
助監督	鳥井邦男
出演	南野陽子
	赤井英和
	三浦友和
	太川陽介
	三谷昇
	吉行和子
	柳沢慎吾
	南果歩

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.